



真ん中から2番目の歯が中に入っている



装置でアゴを拡大後、歯を押し込みます



歯が正常に並びました



## どうしてこんなきれいな歯になったの？

**A**

「歯列育形成」という方法があります。これは乳歯が生えている時、または永久歯が生えそろう前に歯並びを育成するものです。最初から良い歯並びを育成するのです。主にプレート（床矯正）と呼ばれる器具を夜寝ている間や、決められた時間だけ口に装着するという簡単な治療です。取り扱っている歯科医に一度お問い合わせくださいね。

**Q**

幼児の子育て中の母親です。私もかつては自身の歯並びに悩み、矯正治療で苦労しました。自分の子供には同じ思いをさせたくはありません。良い方法はありますか？



山口芳照 歯科医師  
Yoshiteru Yamaguchi

浜松市中区佐藤町「やまぐち歯科矯正歯科医院」院長。インプラント、審美歯科、床矯正、ホワイトニングを得意とする。「自分がクライアント（患者）だったなら「受けたい」と思う歯科医療を提供する」が信条。

## 「歯列育形成」ってどんな治療法？

# 美しい歯並びはお子様への最高の贈り物

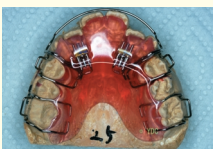
取材/やまぐち歯科矯正歯科医院 ☎053-461-2906

### 「歯列育形成」の

### 具体的な治療法

- ①「プレート」または「床矯正装置」と呼ばれる取り外し可能な装置を1日12〜15時間（夜間のみあるいは学校以外のお口の中に入れるだけです）。
- ②そのプレートにはスクリューが付いており、それを拡大することによってアゴが大きくなり、永久歯の生えるスペースが確保されます。
- ③来院間隔は1〜2ヶ月に1度です。
- ④開始年齢は、4〜6才くらいが最適です。8、9才でもできます。

- ⑤拡大期間はおおむね2〜3年の適用になる場合があります。終わりますが、永久歯が生えそろうまで（12才前後）管理します。また、必要があれば、永久歯が生えそろうつてから短期間ワイヤーを入れると歯並びはより綺麗になります。



虫歯がないのは当たり前！  
今はきれいな歯並びの時代です

**歯**並びが悪くなる原因のほとんどはアゴが小さいこと。そのためにすべての歯がきちんと生えず、混み合ってしまったりします。従来の矯正治療では便宜的に歯を抜くなどの対症療法で対応してきました。現在では「アゴの拡大」をして、大元の原因を治す原因療法「歯列育形成」が可能になり、抜歯の確率は大きく下がりました。歯列育形成について山口先生にお聞きします。



やまぐち先生が答えます！

歯に関する悩み・質問に  
ママミーヤ誌面上でお答えします！

※質問すべてに答えるものではありませんのでご了承ください。尚、これにより得た個人情報については他に開示しないものとします。質問はメールにて受け付け！

■アドレス/dental@c-shopper.co.jpまで。